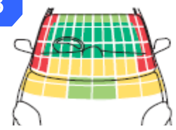
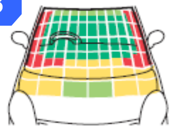
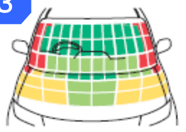
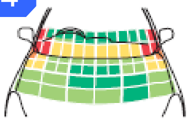
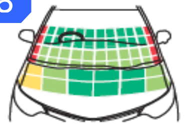
国土交通省

独立行政法人自動車事故対策機構

自動車アセスメント 2006年度 前期評価結果

カテゴリー	試験対象車種 / 試験車	衝突安全性能総合評価 運転席	衝突安全性能総合評価 助手席	歩行者頭部保護性能評価	ブレーキ性能 停止距離 乾いた路面	ブレーキ性能 停止距離 濡れた路面
軽自動車						
	発売2005年12月～ ダイハツ　エッセ 試験車　エッセ　L 試験車の排気量:658cc	5	5	レベル 3 	44.3	50.0
	発売2006年2月～ ｽｽﾞｷ MRﾜｺﾞﾝ ／ 日産 ﾓｺ 試験車　モコ　E 試験車の排気量:658cc	5	5	レベル 3 	42.7	47.8
	発売2006年3月～ ホンダ　ゼスト 試験車　ゼスト　G 試験車の排気量:658cc	6	6	レベル 4	43.3	47.1
乗用車A　排気量1500cc以下（1BOX&ミニバン除く）						
	発売2005年12月～ トヨタ　bB ／ ダイハツ クー 試験車　bB　Z　Qバージョン 試験車の排気量:1,495cc	5	6	レベル 3 	40.3	43.5
乗用車B　排気量2000cc以下（1BOX&ミニバン除く）						
	発売2005年12月～ 日産　ﾌﾞﾙｰﾊﾞｰﾄﾞｼﾙﾌｨ 試験車　ﾌﾞﾙｰﾊﾞｰﾄﾞｼﾙﾌｨ　20M 試験車の排気量:1,997cc	5	5	レベル 4 	41.8	46.1
1BOX&ミニバン（座席が3列以上のもの）						
	発売2006年1月～ トヨタ　エスティマ 試験車　エスティマ　アエラス 試験車の排気量:2,362cc	6	6	レベル 5 	41.7	45.5

※前期評価結果には、2006年度に評価を行う予定の18車種のうち、既に評価結果がまとまったものを掲載しています。
※同じカテゴリー内は、重量の軽い順に並べています。
※試験車は、試験対象車種の中で最も売れ筋のグレードの車を、販売店から任意に抽出し購入する方法等により調達しています。
※2005年度からブレーキ試験を行うテストコースが移転し、従来と比較して湿潤路面の摩擦係数が異なっています。

衝突安全性能総合評価結果の見方

運転席（いずれも0～12点）

- フルラップ前面衝突実験
- オフセット前面衝突実験
- 側面衝突実験

→ 総合評価点（0～36点） → 6段階評価

0　16　20　24　28　32　36
（基礎点）　（満点）

助手席（いずれも0～12点）

- フルラップ前面衝突実験
- 側面衝突実験

→ 総合評価点（0～24点） → 6段階評価

0　12　14.4　16.8　19.2　21.6　24
（基礎点）　（満点）

★の数値が大きいほど衝突安全性能が良いことを示しています。

歩行者頭部保護性能評価結果の見方

HIC	
～ 650	頭部傷害値（HIC:Head Injury Criteria）の数値が大きいほど頭部に傷害を受ける危険性が高くなります。
651 ～ 999	
1000 ～ 1500	
1501 ～ 1999	
2000 ～	

レベル1～5　歩行者の頭部があたるエリアごとに頭部傷害値を得点化し、5段階評価を行います。レベル5が最高評価となっています。

レベル5	定められた試験条件で頭部に重大な傷害を受ける危険性が約10%以下の確率
レベル2～レベル4	上記危険性が約10%～40%の確率
レベル1	上記危険性が約40%以上の確率